

第 22 回 100 周年記念事業準備委員会

議事録

会議情報

- 日時: 2026 年 9 月 12 日 (土) 午後 3 時～
- 場所: [八尾プリズムホール 研修室]
- 参加者: [美馬、中田、廣原、新堂、小部、坂上、九里、菅野、田中洋之、野口、新田、田中久夫、嶋野、山内、服部、米満、宮崎、日向、伊藤、川本、日浦、小森、岩佐、黒岡、徳山、辻田、山崎、田辺、市川、山本友香、谷口、洞、原] 33 名

会議詳細

①プレ 100 周年「山高へいこう」について

11 月 21 日のイベントは参加申込約 282 名（未集計 39 件含め約 300 名想定）で、従来の約 100 名規模から大幅拡大。会場手配、動線・安全計画、食堂連携、学校側交渉、警備体制、医療対応、名簿確定などの運営要件を 10 月 3 日までに実質確定する。イベントの成否が食堂改修寄付の拡大に直結するため、寄付導線の設計（会場掲示、QR、受付案内、スピーチ）や、グッズ（100 周年ロゴ T シャツ）の販売・通販連動、クラウドファンディングの検討を並行推進する。全体タイムラインは「10:00 受付」「10:30 総会」「11:00 ブラスバンド」「12:00～13:00 食堂開放」「13:00 ダンス部」「その後食堂再開放」を基本線とし、分散収容（食堂メイン＋剣道場・柔道場・視聴覚室・同窓会会館）と二元中継で対応する。

会場・動線・受付設計

- 受付分散配置（正門前＋奥側サブ受付）と導線図を作成し、行列・雨天対策（テント）を確保。本人確認・属性把握は「首掛け名札＋自書」を基本とし、受付カテゴリ分割（期・年齢帯等）で処理を高速化。自転車・車両対応は公共交通推奨、駐車抑止の警備配置を検討。

- 参加対象ポリシー（卒業生優先、当日飛び込み条件、近隣住民対応）を文書化し、QR 返信・はがき返信の名簿統合、予約（総会・見学ツアー）運用を整備。案内板・誘導掲示は各パートでラミネート掲示を準備。
- 総会は同窓会会館の収容制限を踏まえ、定員（先着 50 名または 60 名のいずれかに一本化）で先着制を採用。入場上限到達時は食堂へ誘導し、受付と会場で人数連携。総会の様子は食堂で映像または音声継（Zoom 等）で視聴可とする案を検討。
- 二元中継の技術方式（機材、音響、帯域、オペ担当）と検証日程を確定。食堂での投影・音響とレイアウト整合を図る。
- 警備体制はセブン-イレブン周辺の駐車防止を含め、シルバー人材センター等外部委託も含め費用確認。39 回生グループ中心の自転車誘導・禁煙呼びかけ・見回りも計画。運営役員専用 LINE で情報共有し、イヤホンマイク活用を推奨。

会場収容・中継・待機運用

- 食堂単独では約 300 名は収容不可のため、剣道場・柔道場・視聴覚室・同窓会会館を組合せ分散収容。待機場所と誘導サイン・スタッフ配置を確定。剣道場・柔道場は靴・椅子・快適性の課題があるため、学校と協議し靴の扱い・簡易座席の可否など対策を講じる。
- 写真撮影は総会直後に食堂で一斉スナップ（約 15 分）として期別撮影を省略。

タイムスケジュールとプログラム

- 当日の流れを最終化し、飲食制限時間（11:00～11:30、13:00～13:30）を場内表示・司会アナウンスで徹底。ブラバン・ダンス部のセッティングと座席運用の整合を図る。
- 校舎見学ツアーは校長意向を確認のうえ、枠設定（30～50 名/回）、回数、事前予約＋当日受付の先着制を運用。案内スタッフ（校長・教頭＋同窓会）と導線を確定し、Instagram 等で広報。

食堂運営・メニュー・レイアウト

- 来場 280～300 名想定を共有し、メニュー点数・価格・提供キャパ・ピーク対策を事前合意。食堂は「12 時から継続開放」し、ダンス同時開催は避ける。プロジェクター・スクリーン・音響の手配とテストを実施。レイアウトは視聴・飲食・通路・イベントの両立を前提に、食券販売位置・入口・集合導線を再設計。飲食はセルフ課金で随時購入。
- ブラスバンドは「11 時から食堂」。演奏中は厨房とのやり取り停止で騒音・動線干渉を抑制。前方スペース確保、テーブル移動は最小限。

- ダンス部は「13時から剣道場」で実施を基本線とし、靴脱ぎ・スリッパ配布・靴袋の準備、入退場導線を手順化。観客過多時のツーステージや入場制限、食堂待機誘導、視認性対策（立ち見基本、座布団・簡易椅子の限定配置）を整備。

校舎見学・資料館・履物・衛生

- 校舎見学は上靴・スリッパ持参を周知。剣道場は靴脱ぎ運用。スリッパ・靴袋の調達数量、配布・回収動線を確定。
- 資料館は総会終了後に開館し、専任担当複数名で運営。貴重品管理を徹底し、開館時間を明記。落とし物は本部窓口を設置し対応。
- トイレの使用可能場所は学校と協議し、利用範囲を確定・周知。
- イベント終了後の清掃は分担・責任者を明記し、特に食堂中心に実施。ゴミは持ち帰りが基本だが最小限の回収体制を用意。

受付・会計・寄付運用

- 寄付導線は食堂内「事務局受付ブース」で高額寄付を受付。3000円以上は会報誌に氏名掲載、5万円以上の高額枠案内を明示。少額寄付は募金箱へ分流（ブラバン・ダンス部等の用途別明示）。高額寄付は領収書発行不可（預かり証対応の可否・様式を整備）を掲示・アナウンスで明確化。部への直接寄付は避け、OB/OG・講演会経由で現役へ配分する枠組みを学校と合意。
- 会計運用は支出承認フローを明文化し、領収書取得・保管を徹底。受付マニュアルに寄付額線引き、氏名掲載条件、預かり証対応、動線を記載。

②記念事業寄付金について

記念事業寄付拡大・食堂改修方針

- 特定寄付は1,198万5,472円（8/31）、一般寄付は12,473,252円（9/11）で未達。プレイベントを起点に寄付拡大（会場導線、スピーチ、QR、メール/郵送キャンペーン）を実施。クラウドファンディングの可否・計画、公式通販と寄付連動スキーム（寄付額表示、レシート明記）を設計。
- 食堂改修は「A: 1000万～1200万の縮小案（椅子更新中心）を今年夏」「B: 集金延長し2000万～4000万へ再設計」の比較資料を作成。資金調達計画を再構築し、学校と施工時期（夏/後追い）協議。「3月頃」までに最終方針案を策定。

③その他

100 周年ロゴ T シャツ

- 第 1 弾は予約 200 枚超、締切 9/13。ネット最安・既存取引の最終見積比較後、週明け発注。9 月末納品前提で 10/3 配布。色は紺で版代節約、原価 1,169 円＋包装 70 円、販売価格 2,000 円で 1,000 円を寄付充当。第 2・第 3 弾の受注販売、インスタ拡散、プレ当日再受注を実施。販売管理（単価・寄付会計・在庫）と公式サイト/通販の継続販売体制を検討。

広報・情報配布

- 事前メールで当日スケジュール、会場案内、見学ツアー予約、特定寄付趣意書、公共交通案内を配布。写真共有は LINE/メールで配布し、外部展開禁止を明示。
- Instagram を活用し、先着制や各イベント詳細、メニュー、寄付募集を段階的に告知。投稿承認プロセスと頻度、QR 不具合の解消、フォロワー拡大（同窓会 LINE で QR 共有）を実施。

顔はめパネル（100 周年記念）

- 「大阪府立山本高等学校」「創立 100 周年記念」等の文言、男子学ラン・女子制服デザインを含む仕様を確定。業者選定・見積（2～3 万円目安、切り抜き有無の価格差）、デザイン制作、印刷・加工・安全処理（角処理、転倒防止）を進行。

予算・物品調達

- 総会費用予算は 5 万円。名札 300（60～70 円/枚）、ラミネート等を予算内で調達。ガードマンの要否は費用対効果で判断し、卒業生ボランティア代替案と比較。

リスク・未決事項（要早期確定）

- 会場の具体区画と 300 名規模の動線・安全計画、二元中継の技術方式・検証、総会定員（50/60 名）と立見可否、参加対象ポリシーの最終確定。
- 剣道場・柔道場の快適性対策（靴・座席）、ダンスの靴脱ぎ・スリッパ・靴袋の数量・配置・回収、観客過多時のツーステージ/入場制限手順。

- 食堂メニュー・提供キャパ・レイアウト最終案、演奏時の厨房停止タイミング、食券・入口・集合導線の同時運用詳細。
- 校舎見学ツアーの枠数・時間割・予約運用の確定、案内体制の人員確保。資料館運営の担当割、開館時間の周知。
- 警備体制（セブン-イレブン対応、外部委託費用）、トイレ利用場所の確定・周知、清掃分担と責任者、落とし物窓口の場所・運用。
- 寄付に関する表現・会報掲載基準の統一、高額寄付の預かり証ルール（様式・発行条件・会計処理）、部活支援の枠組みと学校方針の整合。
- 食堂改修の規模・時期の意思決定マイルストーンと判断基準。